

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	長崎大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナガサキダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F142110111189
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	長崎県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	神園健次：准教授（就職委員長）
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	25
	受入企業等数	17
	受入企業等名	長崎県庁、長崎財務事務所・長崎税関、株式会社十八親和銀行、株式会社リンク、五島市役所、IG会計グループ、石井会計事務所、長崎労働局、長崎公共職業安定所、長崎船舶装備株式会社、九州ガス株式会社、雲仙市役所、長崎市役所、時津町役場、ジョブネットワークセンター、株式会社コミュニティメディア、株式会社長崎ケーブルメディア
インターンシップの分類	9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	本科目は、企業・団体・事業所等における一定期間の就業体験を行い、実社会の体験を通し、社会人となった際の心構えなどを教授することを目的としている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	専門ゼミを着手している3年生を対象に夏季休業期間中に1週間程度（合計30時間）の現場体験を行うことを条件に「自由科目」として実施している。本インターンシップの目的は企業・団体・事業所等における一定期間の就業体験を行い、実社会の体験を通し、社会人となった際の心構えなどを教授することである。（工場見学を主とするような研修、調査・研究そのものを目的とするような研修などは、単位として認めない。）
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	

項目	確認事項	届出内容
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前指導として、当該科目の趣旨の徹底、経済学部を代表しての派遣であること等を認識させる。また、外部から講師を招聘し、インターンシップに対する心構えや立ち振る舞い等マナーの講義を行う。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	レポートや研修日誌を基に教員（就職委員会）がヒアリング等を行う。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ中のモニタリングは行っていない。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	派遣先企業において現場を体験し、社会に関して、就職活動開始できる振る舞いの可能なレベルに達することを到達目標にしている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	受入企業すべてにおいて、5日間のインターンシップを行っている。
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 7.その他
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	長崎県が主導の長崎県インターンシップ推進協議会が県内の参加企業の取り纏めを行う。その後、長崎県内の各大学で学生のインターンシップ申込書を取り纏めて同協議会へ提出する。受入先決定後、円滑に研修ができるよう、学生に事前に所定の様式の自己紹介書、誓約書を提出させる。また、実施内容等を共有するために大学と企業で事前に覚書を締結する。期間中は毎日、学生が研修日誌を入力し、企業の担当者からフィードバックをして貰うようにしている。終了後、学生と受入企業の双方による評価を行う。
	6-3.上記回答内容に関する詳細	上述と重複するが、期間中は毎日学生が研修日誌を記入し、受入先から評価を貰うようにしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html">https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html</a>
問い合わせ先	大学等名	長崎大学
	担当部署名	学生支援部教育支援課
	担当者役職名	主査
	担当者氏名	北島 有佳子
	電話番号	095-819-2075
	メールアドレス	<a href="mailto:kyo_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp">kyo_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp</a>

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	長崎大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナガサキダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F142110111189
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	長崎県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	学外実習及び見学
	学部・研究科等名	工学部工学科構造工学コース
	担当教職員名・役職	吉武裕・教授, 陳逸鴻・助教
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	45
	受入企業等数	39
受入企業等名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官公庁（長崎県，長崎市，大分市など）</li> <li>・建設会社（五洋建設(株)，三井住友建設(株)，新菱冷熱工業(株)など）</li> <li>・造船会社（(株)大島造船所，旭洋造船(株)など）</li> <li>・設計事務所（(株)山下設計，(株)日本設計，(株)建友社設計など）</li> </ul>	
インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決（例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等）
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	教室で教わって得た知識が、現実の世界ではどのように活かされているかを、工場や、工事現場に出向き、その実体を本人の目で確認させる。実習、見学を通して実際の仕事を体験させることによって、本人の将来設計と学習目標を再検討させる。 また、実習先から実習成績の報告を受け、さらに発表会を行い、教員及び学生の前で実習の成果を報告させる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	教室で教わって得た知識が、現実の世界ではどのように活かされているかを、工場や、工事現場に出向き、その実体を本人の目で確認させる。実習、見学を通して実際の仕事を体験させることによって、本人の将来設計と学習目標を再検討させる。 また、実習先から実習成績の報告を受け、さらに発表会を行い、教員及び学生の前で実習の成果を報告させる。

項目	確認事項	届出内容	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容		
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	実習開始訪問時と終了時に、無事終了したことの報告をMailにてさせている。	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	実習先の会社概要の調査と学生自身の希望調査を照らし合わせて、希望に合致する会社の選択をさせている。また、会社での安全、守秘義務の存在等の説明を行っている。	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	実習報告書、成果概要報告を提出させた上で、実習報告会を複数の教員参加で行い、質疑応答の上、採点を実施している。	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	実習開始訪問時と終了時に、無事終了したことの報告をMailにてさせている。	
	要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み			
4-3.上記回答内容に関する詳細		実習報告書、成果概要報告を提出させた上で、実習報告会を複数の教員参加で行い、質疑応答の上、採点を実施している。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい	
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している	
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	10日～14日間	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合		
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	5日+5日間	

項目	確認事項	届出内容
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	当該コースはJABEE審査を受けており、この関係で、基本的に10日、または2週間を原則としている。
要素 ⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	実習先で、学生を受け入れた担当者に大学が作成した評価表に記入していただき、送付してもらっている。その評価も科目の評価に用いている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html">https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/index.html</a>
問い合わせ先	大学等名	長崎大学
	担当部署名	学生支援部教育支援課
	担当者役職名	主査
	担当者氏名	北島 有佳子
	電話番号	095-819-2075
	メールアドレス	<a href="mailto:kyo_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp">kyo_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp</a>